



南部ブロック会議本日のアジェンダ

- ・ 8月4日役員会フィードバック
 - ・ 南部ブロックエリアの史跡巡り
 - ・ コーディネーターの仕事
-



コーディネーターの仕事

それぞれの得意分野を協業で果たす

さらなる「生涯学習社会」実現を目指して 三澤 史子生涯学習部長

コロナ禍の
活動自粛

高齢者の増加

外国住民の増加

社会教育関連団体
会員数の減少

市民の学び活動の停滞

高齢者の交流機会の減少

子供の体験機会の減少

ふなばし一番星プラン

人生100年時代への対応

デジタル社会への対応

「共生社会」実現のための
取り組み

学びを広げる情報の充実

地域の拠点「公民館」の充実

生涯学習社会の実現「いつでも 誰でも 楽しく」

コーディネーターの作業

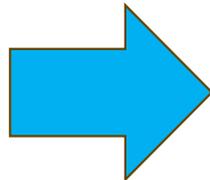
コーディネーターの必要技能／作業範囲が拡大し、対象者も拡大している

- 講座を企画する
 - ① 講座のテーマ選定
 - A) 「人生100年時代」の到来に向け高齢期を豊かに生きるための学習や学び直し（主に高齢者）
 - B) 多文化共生のための学習（外国人）
 - C) 障害者の生涯教育の推進（障害者）
 - D) 地域で子育てを推進する体制作り（子供）
 - E) デジタル化社会への対応（主に高齢者）
 - F) 高評価講座の再実行（高評価講座の再利用手引き）
 - ② 講座の設計、講座の宣伝、チラシ作り、広報作業
- 講座の実施
 - ① 会場の準備、受付、後片付け
 - ② 講座内容のデジタル化、反省会の実施、講座の評価
- コーディネーター能力の向上
 - ① コーディネーター間の情報の共有（役員会、ブロック会議、HP、SNS）
 - ② 公民館との協業

コーディネーターの作業

コーディネーターの数は減少しており分業／協業できる仕組みが必要

コーディネーター作業に専念できる人が減少（仕事をしているなど）
コーディネーターの減少（高齢化など）
新技術を持っている人が増えている（ICT,デザインなど）



それぞれの得意分野を協業で果たす仕組み作り
HP作り、デジタル化作業などを効率良く出来る仕組み作り
(作業依頼と実施の時間銀行などの仕組み)

コーディネーター作業はボランティアで実施している

出来る時に、出来る人が、出来る作業を
やりがいを持って実施したい